

(別紙3) 教室でのサイン・家庭でのサイン

1. 教室でのサイン

教室内が「いじめ」の場所となることが多い。教員が教室にいる時間を増やしたり、休み時間に廊下を通る際に注意を払うなど、サインを見逃さないようにする。

	サイン
	嫌な「あだ名」がよく聞こえる。 席替えなどで、特定の児童生徒が近くになることを嫌がる様子がある。 何か起こると、特定の児童生徒の名前がよく出る。 筆記用具などの貸し借りが多い。
	壁や机などに、落書きやいたずらが多い。 机やイス、教材などがいつも乱雑になっている。

2. 家庭でのサイン

家庭でも多くのサインを出している。児童生徒の動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう、保護者に伝えておくことが大切である。

	サイン
	学校や友人のことなどを、あまり話さなくなった。 友人や、クラスでの不平不満を、口にするようになった。 朝、なかなか起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ってきたりする。 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ることが多くなった。 受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりすることがある。 不審な電話やメールがあったりする。 遊んでいる友達が、急に変わった。 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりすることが多くなった。
	理由のはっきりしない衣服の汚れが多い。 理由のはっきりしない打撲や擦り傷などのケガが多い。 登校時刻になると、体調不良を訴えることが多い。 食欲不振や不眠を訴えることが増えている。
	以前より学習時間が減った。 以前より成績が下がった。
	持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりすることがある。 自転車がよくパンクする。 家庭の品物や金銭がよくなる。 大きな額の金銭を欲しがるようになった。